

(5) 平成 23 年 12 月

だったようですが、現在はほぼ土台を残すのみという状況になっております。

★先日隣の三陸中部署管内の陸前高田市に行く機会がありました。

気仙沼市では土台は残っていますが、ここでは土台すら流され、市内の至る所で湛水しており宮城県との温度差を感じました。

以前はというと海岸沿いに「高田松原」とよばれる白砂青松の景色が広がっておりましたが現在はテレビでも放送された「奇跡の一本松」だけを残すのみという状況です。



応急対策実施後の様子（現在）

★海岸防災林は、潮害・飛砂・風害防備等の機能を有する保安林ですが、今回の津波に対する効果としては津波の減衰、到達時間の遅延、漂流物の捕捉等の効果があげられます。（林野庁HP）といえ陸前高田市のように大規模な津波には限界があるようです。

今回津波の威力を減衰させ、漂流物の捕捉をしたとされる石巻市にある防災林の状況です。

林内では壊れた防潮堤を捕捉している状況を見ることができですが、背後の建物には被害がなかった訳ではなく、やはり壊滅的な被害が発生しています。



高田「奇跡の一本松」



右に見える建物は幼稚園（石巻市）



海岸林背後の状況

★防災林のない箇所はこのような状態になっていますがこの地区は形が残っている家が多いように感じます。

海岸林背後もこのような状況です。

陸前高田市の一本松はあれだけの津波の中を様々な要因が重なり生き残り残りました。



漂流物を捕捉（防災林）

しかし前項の写真のように直前に海岸防災林がなく、海に面した住宅が住めない状態ですが家の形が残り、その後ろでは店舗が営業しているという現実もあり、またその隣に広がる海岸防災林はほとんど被害が出ていないにも関わらず、背後の住宅、店舗は壊滅的な被害を受けたりと、数分の間でこれだけの生活の違いを感じました。

確かに防災林の津波に対する効果だけをとれば漂流物等の捕捉はありますが、全体を見るとこうした状況です。何の要因で残ったのかは、いまだによく分かりません。

今回の津波と被害の大きさを痛感しつつ、現地ではあちこちでこうした状況を見て取れ、「奇跡の一本松」が希望や勇気象徴であるのかがこうした状況からわかるかと思えます。

(残念ながら、十二月に入り「奇跡の一本松」は回復困難との報道がありました。)



人のうごき

中部森林管理局人事

十二月一日付

▽計画部国有林野管理課鑑定官(飛騨署 神岡森林事務所首席森林官)

辻ノ内良明

▽飛騨森林管理署神岡森林事務所首席森林官(岐阜署総務課長)

土田愉貴宏

▽岐阜森林管理署総務課長(総務部総務課人事係長)

都竹 昌和

▽総務部総務課人事係長(飛騨署業務第二課長)

屋敷 昌司

▽南信森林管理署業務第一課付(南信署 豊丘森林事務所首席森林官)

飯島 隆男

▽南信森林管理署豊丘森林事務所首席森林官(南信署和田森林事務所森林官)

白子 和広

▽飛騨森林管理署業務第二課長業務第二課併任解除(飛騨署業務第一課技術専門官業務第二課併任)

四ッ嶽 誠

▽飛騨森林管理署業務第一課付(岐阜署 総務課付)

所附 泰幸

▽南信森林管理署和田森林事務所森林官併任(南信署上村森林事務所森林官)

大前 辰男

▽飛騨森林管理署業務第一課付(飛騨署 業務第一課森林ふれあい係長)

大西 沙織

▽復帰 岐阜森林管理署業務第二課付企

画調整室(名古屋事務所) 併任解除
(計画部指導普及課(名古屋事務所) 企画調整室(名古屋事務所) 併任)

加藤 里実



熟練の技で効率的な作業を展開

「東信森林管理署 真田班」真田班は、長野県上田市、青木村を管轄する真田・青木の二森林事務所を受け持ち、現在、基幹作業職員二名で作業にあたっています。

作業は除伐等の保育作業、境界巡検、林道維持、保全管理業務等多岐にわたっています。

各作業にあたっては、二人とも熟練な技を十分発揮して、効率的でアイデアに富んだ作業を展開しています。また、森林事務所が地域に貢献できるように常に意識して業務にあたっています。

中でも境界関係では官民界が錯綜しており、かつ国有林内に大小六十ほどの民有地が介在しているので、境界巡検には苦労していますが、標示にあたって、大型の見出杭を設置するなど工夫して境界の保全に努めています。

安全活動では毎朝、森林事務所において森林官と天候や作業に応じたミーティングを行い、少人数班であることから緊



真田森林事務所の前で

急時の連絡体制について必ず確認してから作業地に向かっています。

いずれの作業地も急峻で岩石地が多く、足場が悪いため、当班では通年の安全目標として「足場の確認・確保をしっかり行う」を掲げ、転倒・滑落等による災害の未然防止を図っています。

これから冬山作業を迎え、凍結・降雪・寒風と作業環境が一層厳しくなることから、各々が安全意識を高め、無災害を継続し、健康で明るい職場づくりに取り組んでいきたいと考えています。

行事・会議等の予定

◎「安曇野まつかわ馬羅尾高原郷土の森」協定調印式

1月17日

長野市

◎中部森林技術交流発表会

1月31日～2月1日

長野市

ふう けい き こう
風景紀行
 飛驒の匠
 伝説の里～天生
 80
 飛驒森林管理署
 (各署の景勝地等を紹介)

**岐阜の宝もの
 天生県立自然公園**

岐阜県の北部、大野郡白川村と飛驒市河合村にまたがる天生(あもう)峠。一年の半分近くを雪に閉ざされるこの峠は泉鏡花の小説「高野聖」にもその名が登場します。



ミズバシヨウ

天生県立自然公園には、高山植物が咲き乱れる標高一、四〇〇以上の高層湿原や広大なブナの原生林、神秘的なカツラの巨木などがあり、雄大で深淵(しんえん)



ブナ林

また、秋にはブナやカツラ、ナナカマドの見事な紅葉が訪れる人を魅了します。各探勝路を抜け、初糠(もみぬか)分岐を抜けると標高一、七四四以上の、その名のとおり初糠が積もったような初糠山があります。



キノガサソウ



タテヤマリンドウ

んな自然を体感することができます。雪解けの六月初旬から初秋まで花が絶えることがないのが天生の大きな魅力です。なかでも天生高層湿原や深畔林では、春から初秋にかけて一面お花畑となります。春にはミズバシヨウ、ザゼンソウのほか、サンカヨウ、キノガサソウ、タテヤマリンドウ、ツバメオモト、ムラサキヤシオツツジなどが、夏は、ニッコウキスゲやワタスゲ、ワレモコウなどが可憐な花を咲かせます。



匠祭り

◆飛驒の匠のおこり〜匠神社
 約千四百年前の飛鳥時代に活躍した「止利仏師(とりぶつし)」が、幼少期に過ごした屋敷が、匠神社のある地と伝えられています。止利仏師は名工として知られ、法隆寺の釈迦三尊像にも名前が刻まれているほどであります。毎年十月になると止利仏師を偲んで、匠祭りが行われます。

年間八千人が訪れる天生県立自然公園は、市内の池ヶ原・深洞湿原とともに平成二十三年十月に、県内で四つ目となる「岐阜の宝もの」に認定されました。当自然公園では、公認ガイドによる、「天生の自然」と「森と人との暮らし」の案内(有料)もしています。(問い合わせは飛驒市・白川郷自然案内人協会 TEL・FAX 0577-651221)

◆アクセス
 (所在地) 岐阜県飛驒市・白川村
 ○車をご利用の場合
 JR高山本線の飛驒古川駅から車で約五十分。河合町小無雁地区の河合橋を渡り、国道360号を道なり、白川郷方面へ。河合橋から車で約三十分です。
 夏と秋の登山シーズンには地元バス会社によるシャトルバスが運行されています。
 ○その他
 国道360号線冬期通行止(十一月中旬〜五月下旬予定)



カツラ門

◆森林環境協力金について
 天生県立自然公園内では貴重な自然環境を保護保全していくため、入山者のご理解の下、協力金(五百円)を頂き、自然公園内の環境保全対策や森林監視パトロール等の普及啓蒙活動に役立てていただきます。

平成24・25年度 国有林モニターの募集について

企画調整室

中部森林管理局では、「国有林モニター」を下記のとおり募集します。

この募集は、中部森林管理局が管轄する富山県・長野県・岐阜県・愛知県にお住まいの皆様が国有林が果たしているいろいろな役割や、森林の整備、木材の供給、ふれあいの場の提供等の状況をご理解いただくとともに、国有林に対するご意見等を直接伺い、今後の管理経営に役立てていく取組の一環として行うものです。

記

1. 募集人員 36名
2. モニターを依頼する期間
平成24年4月1日から平成26年3月31日までの2年間
3. 依頼内容 ①アンケート調査への回答
②国有林の管理経営に関するご意見、ご要望等の提出
③モニター会議への出席等
4. 応募資格 中部森林管理局が管轄する富山県・長野県・岐阜県・愛知県にお住まいで国有林に関心をお持ちの成人の方。
ただし次の方は除きます。
①国会・地方議会の議員、②地方公共団体の長、③常勤の国家公務員
5. 応募方法等 中部森林管理局のホームページよりご応募ください。
郵便はがき、FAXでも応募できますので、応募記載事項を記し、「中部森林管理局 企画調整室（国有林モニター担当）」宛にご送付ください。

【応募記載事項】

- ①氏名（フリガナ）
- ②性別
- ③生年月日
- ④年齢
- ⑤郵便番号
- ⑥住所
- ⑦職業
- ⑧電話番号
- ⑨国有林モニターをどのようにして知りましたか？
- ⑩国有林モニターに応募した理由（具体的に）

【応募締め切り】

平成24年1月31日（火）

- ・結果は平成24年3月中旬頃までに、依頼状の発送をもってお知らせします。
- ・応募者多数の場合は抽選により選定をさせていただきます。

6. 応募、問合せ先
〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5
中部森林管理局 企画調整室（国有林モニター担当）
TEL：050-3160-6533 FAX：026-236-2657
7. その他
・国有林モニターの応募理由や提出いただいたアンケートの回答、意見、提言は匿名にて公表する場合があります。
・提出された意見や要望に、個別に回答することはしません。

※皆様の個人情報は、国有林モニターの目的以外には使用しません。